

こども防災協会とは？



！ 設立のきっかけ ～「あの日」が訪れつづける日本と世界で～

2011年3月11日。東日本大震災が起きた「あの日」。

東北を中心に、多くのまちと命が失われました。

6年が経過しました。ビルが建っても工場がなおっても、戻ってこないもの…

それは“いのち”でした。どんなに祈り、後悔しても、“いのち”だけは取りもどせません。

「ただいま」が、二度と聞けない言葉になりました。

いろいろな事情で、逃げられなかった人たちもいます。しかし… もっと知識があり、

もっと早く逃げていれば、きっと助かっただろう“いのち”もたくさんありました。

生きのびるためには、いっしょんの判断（はんだん）と行動（こうどう）が重要です。

災害はとつぜん、起こります。時間も場所もえらべません。想像できないことが起こります。

そんな中で、よりよい判断と行動をするのは、大人でもむずかしいものです。

3月11日よりも前に、あれほどの津波がくるということをきちんと教えられ、

知っていた人たちは日本中でどのくらいいたでしょうか。

火山の噴石と逃げ方をきちんと知っている人たちは、日本にどのくらいいるでしょうか。

今までもこれからも、日本・世界で災害（さいがい）はつづいています。

「あの日」は、たくさんの人にきてしまいます。

私たちはつぎに「あの日」をむかえるこどもたちのために、「こども防災協会」を立上げます。

まずは72時間を「生きのびる」ために、こどもたちが興味をもちながら、

楽しく参加できるプログラムと情報を発信。“いのち”を守るこどもたちを増やしていきます。

いざという時、生きのびる（72時間）こどもを増やす

ミッション

「いつ」、「どこで」、「ひとりでも」。

こどもが自分で自分のいのちを守るために、
具体的に「判断」「行動」する力を育む

ビジョン

すべてのこどもが、“いのち”の教育を受けられる社会へ
日本・世界の全てのこどもたちに、

災害時に“いのち”を守るための教育が届いている社会をつくる

団体について

事業の内容



こども防災キャンプ

こどもたちは水のスピードや土の重さなどを体験し、あそびの中で災害のすぐ後に生きのびるための「判断力」や「行動力」などをトレーニングしていきます。キャンプは、「都市型地震」「津波」「大雪」などテーマ別。日帰り型と宿泊型で開催しています。



こども防災テレビ

こども（小学生）が防災について考えて、疑問に思ったことなどを専門家へインタビューしていきます。ディレクター、アナウンサー、カメラマン役の3名1チームで職業体験をしながら企画した内容は動画・WEBページで定期的に発信（※ 準備中）。



無償出張授業（小学校）

さまざまな国からきた留学生やボランティアたちが、小学校を訪問。世界ランキング形式で火山の数や国による災害の違いや文化などをこどもたちとコミュニケーションしていきます。文化の違いを軸に、こどもたちが“災害”に興味を持つきっかけを提供します。

団体の概要

組織名

こども防災協会

設立日

2017年3月11日

役員

代表 鹿島美織

東北拠点

〒986-0041 宮城県石巻市伊原津 2-11-35

関東拠点

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 2-2-16 1F

T E L

090-6684-9696

事務局

平日 11:00~16:00 (12:30~13:30 は昼休憩)

U R L

www.kodomo-bousai.net

